

環境経営レポート

2024年度

株式会社ISEKI Japan
東北カンパニー

対象期間 2024年1月～12月

発行日 2025年7月2日



【 目 次 】

環境経営の基本方針と具体的取組事項	…2
【 1 】 当社の概要	…7
【 2 】 EA21推進組織及び役割	…10
【 3 】 環境経営方針	…11
【 4 】 中長期環境目標	…12
【 5 】 環境目標と実績	…13
【 6 】 環境経営計画と実施評価	…15
【 7 】 環境教育実施	…17
【 8 】 環境会議の実施	…17
【 9 】 環境関連法規制の遵守状況	…18
【 1 0 】 代表者による全体評価・見直しの結果	…19
【 1 1 】 環境コミュニケーション	…20
【 1 2 】 取組事例	…21

東北カンパニー

エコ商品普及による環境負荷削減

先端機器の販売による肥料削減

排ガス規制対応商品の販売

農業用機械
の販売



疎植栽培の推進



苗箱が半分

土、農薬、種も半分→省資源

農作業の省力化→負担軽減

環境負荷削減

二酸化炭素排出抑制

廃棄物排出抑制

法令順守

朝礼コンプラの実施

経営システムの構築

EA21認証・取得

事業場内の省エネ

節電・節水・節資源

事業場の環境作り

さなえ美化運動・技術研修

災害防止・働き方改革

農業

四季の変化、太陽と水の恵みを受けた自然に最もやさしい産業

- ・ 水源のかん養
- ・ 自然環境の保全



コイン精米機の
設置・運用

タイマー設定、LED看板、時間外の消灯による省エネ

ICT技術の活用

ロボットトラクタ
アイガモロボ

農業資材
生活用品の販売

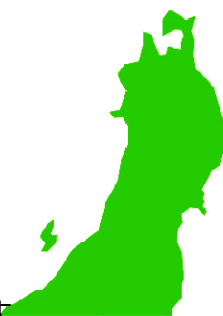
基肥一発肥料の普及
→養分流出抑制



私たちは
夢ある **農** **業** 応援団！

農村の景観を未来の子どもたちに引き継ぐ為に、

農業機械の販売を通じ、東北農業の発展に貢献できる企業を目指します。



主要取扱商品

トラクタ



田植機



コンバイン



ザルビオ実演会



スマート農業研修会



水に浮かべる自動抑草ロボット

アイガモロボ始動！

～スマート有機栽培の取り組み～

井関グループでは、自動抑草ロボット「アイガモロボ」の早期販売に向け全国各地で実証を実施しています。実証では除草にかかる労力を慣行栽培並みに低減することを目標として、抑草効果の検証や、機能改良のためのテストに取り組んでいます。



アイガモロボ 実証中

昨年度策定された「みどりの食料システム戦略」では、耕地面積に占める有機農業の取り組み面積を100万haに拡大することが目標に掲げられています。そのような中、有機水稲栽培においては雑草対策が最大の課題とされ、有機拡大の阻害要因となっています。そこで実証中のアイガモロボで除草の労手を低減することで有機水稲栽培の普及拡大を目指します。



2022年5月17日に連携協定締結式を行いました。



01

株間も抑草

田んぼに浮かべて稲の“上”を縦横無尽に動き回るため、従来の手法では処理が難しかった株間にも抑草効果を発揮します。

オリジナルの特殊なスクリーで、活潑前でも稲を引き抜かず、傷める心配もありません。

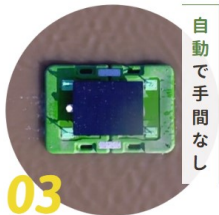


02

稲にやさしい

稲へのストレスを最小限に抑える独自開発のスクリー機構で、活潑前でも稲を傷めません。

スクリーは田面より上にありアイガモロボが物理的に稲の根元にふれないため、欠株の心配も最小限です。



03

自動で手間なし

ソーラーパネルを搭載し、クリーンな太陽光エネルギーで自家発電しながら動き続けます。

GPSで位置を確認して設定した航路を自動で走り続けるので、田んぼに浮かべた後は手間がかりません。



アイガモロボ2

自動操舵システムのしくみとは

自動操舵システムとは、所有するトラクターにGNSS（GPS）受信機とモータ付きハンドル、モニターを取付け、ハンドルを自動で制御するシステム。

農機具に設置後、初回設定として経路登録をしておくだけで、後はGNSS情報を受信して自動で操縦が可能。操縦者の疲労を大幅に軽減することが可能です。

自動操舵システムのメリット

POINT
01

作業が楽になる



GPS情報を基に位置を補正するため、広い区画の直線操作や夜間作業、悪条件圃場でも真っ直ぐな操作が可能。

ハンドル操作に集中する必要がないため、疲労が軽減されます。

POINT
02

**誰でも操縦
できるようになる**



自動操舵システムを取り付けることで、操縦が苦手な人や経験が浅い人でも真っ直ぐトラクターを操縦することが可能です。
繁忙期に留学生を雇う方も安心。
操縦を任せる人が増えることで、人員にも余裕ができます。

POINT
03

生産量が安定する



GPSの位置データ取得により、高精度な作業を実現。

これにより等間隔で苗植えができたり、未作業の箇所がなくなるため、作物の生産量が安定します。

Q：費用対効果はある？



作業効率がかなり上がりました。

作業の重複や未作業がなくなるので、耕耘や畔塗（あぜぬり）、田植え、マルチャー作業やトレンチャー作業などの作業時間が短縮されました。

資材の節約もできるので、コストダウンも実現できています。**もう手放せないですね！**



アググローバル（CHCNAV）の自動操舵システムはここがい



CHCNAV NX510は、様々な農場規模に対応できる、高い精度を持ったシステムです。多彩なニーズに応えられるように、トラクターから別のトラクターに移設する際に40分以内に作業ができるように設計されています。さらに、上記で紹介している通り自動ターンや無料でファームウェアを更新できるといった魅力もあるシステムです。

またFacebookでは、CHCNAV NX510オーナーズのグループが作成されており、導入・利用する上での疑問や使用方法について活発に意見の交換が行われています。導入する際にはこちらも参考にしてみてください。

このサイトでは、自動操舵システムを初めて導入する方に向けて、日本で認知度の高い自動操舵システムメーカー3メーカーを紹介。認知度の高いメーカーを選ぶことで、補助金対象になる可能性が高かったり、トラブル時もWeb上に情報が上がっているため、すぐに調べられる等様々なメリットがあります。

【 ICTへの取り組み 】



自動操舵



直進アシストシステム オペレス
タ搭載 トラクタRTS



BF-Dシリーズ
直進アシスト仕様



ロボットトラクタ



自動操舵装置



NEW



JAPAN HJ6130直進アシスト

カタログ

ムービー



ISEKI アグリサポート（リード
アイ）



直進&旋回アシストシステム
Operesta + TURN 田植機PR



直進&旋回アシストシステム
Operesta + TURN 田植機PRJ8



さなえPRJ8ロボット田植機
（有人監視型）

ISEKIなら直進アシスト & 旋回アシストでハンドル操作は一切不要です。



ロボット田植機のメリット

①軽労化

短い時間に集中する田植えの期間。
広大な面積の稲作作業はオペレータに大きな負担を掛けます。
ロボット田植機なら負担を軽減できます。

②人材（オペレータ）確保

ロボット田植機が熟練者並みの精度で作業を行うので、初心者でも作業が
でき、若い手、プロ農家にとっての課題であるオペレータ不足を解消できま
す。

③規模拡大

農作業軽減とオペレータ不足を解消することで、さらなる経営規模拡大がで
きます。



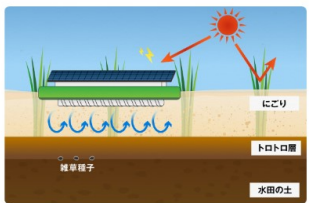
※実機が保有する特許出願技術（特願2018-
）です。

【 ICTへの取り組み 】

あなたの田んぼ、にがらせます。
—— まったく新しい雑草対策 ——



水に浮かべる自動抑草ロボット ※実用特許出願中



ポイント① 水のにごりで雑草抑制
スクリューの水流で土を巻き上げ田んぼ全体をにがらせ、太陽光を返すことで、雑草が光合成をしにくい環境環境を作ります。

ポイント② トロトロ層に種子を埋没
巻き上げられた土が堆積してトロトロ層（やわらかい土の層）が形成され、雑草種子を出芽できない深さに埋没します。

3つの特長



01 株間も抑草

田んぼに浮かべて稲の「上」を縦横無尽に動き回るので、従来の手法では処理が難しかった株間にも抑草効果を発揮します。

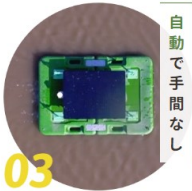
オリジナルの特許なスクリューで、活着前でも稲を引き抜かず、傷める心配もありません。



02 稲にやさしい

稲へのストレスを最小限に抑える独自開発のスクリュー機構で、活着前でも稲を傷めません。

スクリューは田面より上にありアイガモロボが物理的に稲の根元にあたらないため、欠株の心配も最小限です。



03 自動で手間なし

ソーラーパネルを搭載し、クリーンな太陽光エネルギーで自家発電しながら動き続けます。

GPSで位置を認識して設定した航路を自動で走行し続けるので、田んぼに浮かべた後は手番がかりません。

営農管理システム

AGRISUPPORT
VOICER RECORD

AGRISUPPORT
X
agri-note

ISEKI REMOTE
REMOTE MONITORING

ISEKI アグリサポート
(トラクタ・田植機・コンバイン)

ISEKI アグリサポート × アグリ
ノート連携

ISEKI リモート



営農ソリューション・ポータルサイト「Amoni（エーモニー）」

国内外の参画企業が掲載するコアな商品情報や技術情報、営農・栽培・先端技術情報などバラエティに富んだリアルな実演・実証・イベント情報等を一括で閲覧できるサイトがオープンしました。

生育管理

IROHA

天晴れ

「いろは」
葉色解析サービス「いろは」
ドローンで撮影した画像から、
農地・生育状況の詳細を見える
化します

「天晴れ」
人工衛星の画像解析により生育
状況を可視化するサービス



2023年 2月15日
社内研修(青森支社)



2023年 3月10～11日
岩手支社(花巻・紫波・北上 合同)展示会

【1】当社の概要

1. 事業者名 株式会社ISEKI Japan 東北カンパニー
2. 本社所在地 〒989-2421 宮城県岩沼市下野郷字新南長沼1-2
3. 代表者氏名 社長 加藤 敏幸
4. 環境マネジメントシステムの責任者及び担当者連絡先
 環境管理責任者 管理部次長
 E A 2 1 推進事務局 総務グループ

連絡先 TEL 0223-24-1111 FAX 0223-24-2240

5. 事業内容

- ①農業機械の販売及び整備
- ②農業資材、生活用品の販売
- ③コイン精米機による精米事業

6. 事業年度

毎年1月1日から12月31日（本レポート対象期間）

7. 事業の規模

- | | | |
|----------|-----------|-----------|
| （1）年間売上高 | 15,560百万円 | （2024年度） |
| （2）従業員数 | 502人 | （2024年度末） |
| （3）事業所数 | 80ヶ所 | （2024年度末） |

エコアクション21認証・登録範囲

- ・認証・登録事業者：株式会社ISEKI Japan 東北カンパニー
- ・対象事業活動： 農業機械の販売及び整備、農業資材等の販売
 コイン精米機事業
- ・対象事業所： 環境活動レポートp 8-9 に記載のとおり

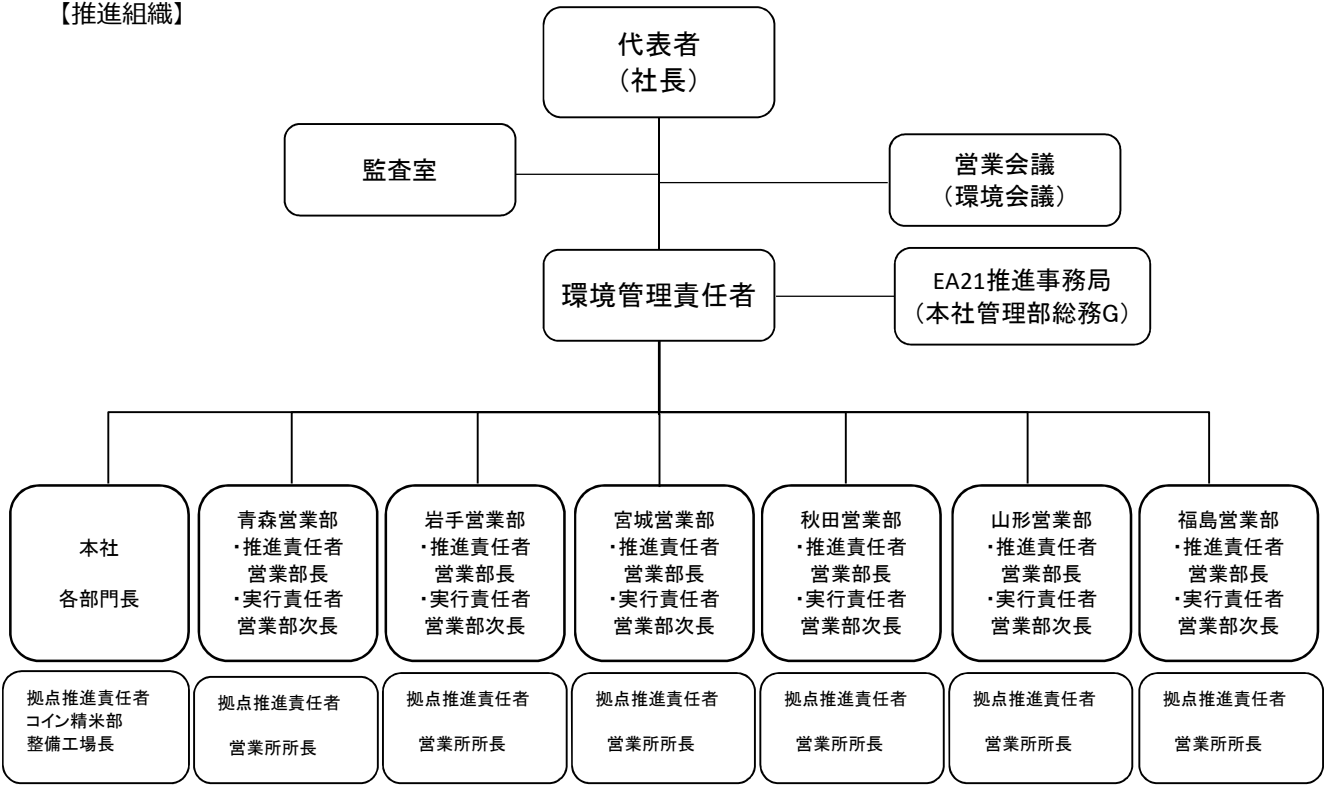
8. 本社及び支社の所在地（認証・登録対象事業所）

	区分	事業所名	住 所	電話番号	業務内容
本 社	本社	1 本社	岩沼市下野郷字新南長沼1-2	0223-24-1111	事務所
	拠点	2 登米整備工場	登米市東和町米川字中島254	0220-44-4061	コシヒカリ精米機整備
青 森 営 業 部	営業部	1 青森営業部	青森市問屋町2丁目11-23	017-738-1331	事務所
	拠点	2 中里	北津軽郡中泊町中里字平山266-20	0173-57-4027	事務所+農機販売+整備
	拠点	3 金木	五所川原市金木町玉水201-10	0173-53-2778	事務所+農機販売+整備
	拠点	4 つがる	つがる市木造朝日13-1	0173-42-4146	事務所+農機販売+整備
	拠点	5 鰯ヶ沢	西津軽郡鰯ヶ沢町舞戸町東阿部野121-4	0173-72-6382	事務所+農機販売+整備
	拠点	6 黒石	黒石市富田139-1	0172-52-4355	事務所+農機販売+整備
	拠点	7 平賀	平川市柏木町字柳田6-2	0172-44-2248	事務所+農機販売+整備
	拠点	8 弘前	弘前市石渡4丁目17-4	0172-37-0076	事務所+農機販売+整備
	拠点	9 東青	青森市西田沢字沖津321-2	017-763-1351	事務所+農機販売+整備
	拠点	10 むつ	むつ市田名部字前田6-19	0175-22-3314	事務所+農機販売+整備
	拠点	11 天間林	上北郡七戸町字森ヶ沢310-7	0176-68-2121	事務所+農機販売+整備
	拠点	12 三沢	三沢市三沢字流平69-257	0176-54-2080	事務所+農機販売+整備
	拠点	13 上北	上北郡東北町上北北2丁目33-130	0176-56-2150	事務所+農機販売+整備
	拠点	14 十和田	十和田市三本木西金崎11-2	0176-22-5931	事務所+農機販売+整備
	拠点	15 六戸	上北郡六戸町犬落瀬長瀬3-3	0176-55-3170	事務所+農機販売+整備
	拠点	16 三戸	三戸郡三戸町川守田字八百平28-5	0179-22-2474	事務所+農機販売+整備
岩 手 営 業 部	営業部	1 岩手営業部	花巻市卸町9-2	0198-26-4611	事務所
	拠点	2 花巻		0198-26-5005	事務所+農機販売+整備
	拠点	3 軽米	九戸郡軽米町上館第15地割字岩崎33-1	0195-46-2209	事務所+農機販売+整備
	拠点	4 岩手	岩手郡岩手町子抱第5地割字笹川久保44-4	0195-62-2145	事務所+農機販売+整備
	拠点	5 西根	八幡平市平館9地割171-1	0195-74-2311	事務所+農機販売+整備
	拠点	6 雫石	岩手郡雫石町36柿木61-1	019-692-2545	事務所+農機販売+整備
	拠点	7 盛岡	盛岡市東仙北2-15-23	019-635-1234	事務所+農機販売+整備
	拠点	8 紫波	紫波郡紫波町桜町字才土地70-12	019-672-2214	事務所+農機販売+整備
	拠点	9 遠野	遠野市松崎町白岩15-4-6	0198-62-2017	事務所+農機販売+整備
	拠点	10 北上	北上市上江釣子第6地割38-1	0197-77-5005	事務所+農機販売+整備
	拠点	11 水沢整備	奥州市水沢区太日通り1-4-11	0197-25-7311	事務所+整備
	拠点	12 胆沢	奥州市胆沢区小山字菅谷地570-1	0197-47-0811	事務所+農機販売+整備
	拠点	13 一関	西磐井郡平泉町平泉宿8-1	0191-46-5308	事務所+農機販売+整備
宮 城 営 業 部	営業部	1 宮城営業部	岩沼市下野郷字新南長沼1-2（本社同住所）	0223-24-6067	事務所
	拠点	2 仙南	角田市梶賀字高畑北380-1	0224-62-0882	事務所+農機販売+整備
	拠点	3 仙台	岩沼市下野郷字新南長沼1-2	0223-36-9855	事務所+農機販売+整備
	拠点	4 石巻	石巻市鹿又字道の前330-2	0225-75-2206	事務所+農機販売+整備
	拠点	5 古川	大崎市古川休塚字南田34	0229-28-2214	事務所+農機販売+整備
	拠点	6 加美	加美郡加美町矢越10-1	0229-64-4777	事務所+農機販売+整備
	拠点	7 築館	栗原市築館下宮野町浦1	0228-22-2615	事務所+農機販売+整備
	拠点	8 佐沼	登米市中田町宝江黒沼字町80	0220-34-6671	事務所
	拠点	9 佐沼登米整備	登米市東和町米川字中島254	0220-44-4061	事務所+整備（2024年1月稼働）

	区分	事業所名	住 所	電話番号	業務内容
秋田営業部	営業部	1 秋田営業部	秋田市寺内字大小路207-49	018-845-0001	事務所
	拠点	2 秋田		018-845-0006	事務所+農機販売+整備
	拠点	3 大館	大館市池内字池内103-3	0186-42-5423	事務所+農機販売+整備
	拠点	4 鹿角	鹿角市花輪字諏訪野106	0186-25-3403	事務所+農機販売+整備
	拠点	5 北秋田	北秋田市下杉字上清水沢103	0186-67-6201	事務所+農機販売+整備
	拠点	6 能代	能代市扇田字西扇田347-2	0185-58-5588	事務所+農機販売+整備
	拠点	7 八竜	山本郡三種町鶴川字昼根下2-5	0185-85-2643	事務所+農機販売+整備
	拠点	8 大湯	南秋田郡大湯村字東4-63	0185-45-2481	事務所+農機販売+整備
	拠点	9 八郎潟	南秋田郡八郎潟町字上昼根223-2	018-875-4044	事務所+農機販売+整備
	拠点	10 男鹿	男鹿市船越字サッピ93	0185-35-2325	事務所+農機販売+整備
	拠点	11 秋田南	秋田市仁井田字川久保4-2	018-839-6564	事務所+農機販売+整備
	拠点	12 本荘	由利本荘市三条字三条谷地145	0184-23-3911	事務所+農機販売+整備
	拠点	13 大曲	大仙市花館字葛野206-1	0187-63-7110	事務所+農機販売+整備
	拠点	14 角館	大仙市下鶯野字羽場127	0187-55-2175	事務所+農機販売+整備
	拠点	15 横手	横手市大屋新町字中野555-1	0182-32-2601	事務所+農機販売+整備
山形営業部	営業部	1 山形営業部	東村山郡中山町大字岡字金田2008-3	023-674-0077	事務所
	拠点	2 山形中央		023-674-0066	事務所+農機販売+整備
	拠点	3 遊佐	飽海郡遊佐町大字遊佐字堰端2-2	0234-72-2265	事務所+農機販売+整備
	拠点	4 庄内中央	酒田市新堀字豊森210-33	0234-93-2810	事務所+農機販売+整備
	拠点	5 鶴岡	鶴岡市大字道形字二ツ屋61-3	0235-22-8230	事務所+農機販売+整備
	拠点	6 真室川	最上郡真室川町新町387-2	0233-62-3094	事務所+農機販売+整備
	拠点	7 新庄	新庄市五日町上小月野1384	0233-22-3960	事務所+農機販売+整備
	拠点	8 村山	村山市櫛山字金谷原4600-67	0237-58-2214	事務所+農機販売+整備
	拠点	9 置賜中央	東置賜郡川西町吉田5800番地	0238-44-2021	事務所+農機販売+整備
福島営業部	営業部	1 福島営業部	須賀川市保土原字中屋敷38	0248-94-2821	事務所
	拠点	2 会津中央	河沼郡湯川村清水田字村前375	0241-27-8331	事務所+農機販売+整備
	拠点	3 高田整備	大沼郡会津美里町字宮ノ腰3961	0242-54-5023	事務所+整備
	拠点	4 猪苗代	耶麻郡猪苗代町堅田字妻神1457-1	0242-62-2058	事務所+農機販売+整備
	拠点	5 田島	南会津郡南会津町田島字東荒井甲2512-1	0241-62-0387	事務所+農機販売+整備
	拠点	6 福島	福島市北矢野目字成田小屋22-2	024-553-6761	事務所+農機販売+整備
	拠点	7 保原	伊達市保原町下野崎47-3	024-575-2264	事務所+農機販売+整備
	拠点	8 郡山	郡山市安積町成田字島ノ後31-4	024-945-1442	事務所+農機販売+整備
	拠点	9 須賀川	岩瀬郡鏡石町久来石字南町174-2	0248-62-1186	事務所+農機販売+整備
	拠点	10 長沼	須賀川市掘込字浦通南75	0248-68-2057	事務所+農機販売+整備
	拠点	11 滝根	田村市滝根町菅谷字入水538	0247-78-3711	事務所+農機販売+整備
	拠点	12 石川	石川郡石川町新屋敷字新寛90	0247-26-3224	事務所+農機販売+整備
	拠点	13 白河中央	白河市表郷三森字都々古下8	0248-32-3078	事務所+農機販売+整備
	拠点	14 相馬中央	南相馬市鹿島区横手字北ノ内96	0244-46-4781	事務所+農機販売+整備
	拠点	15 いわき	いわき市平中神谷苧萱16-3	0246-34-5331	事務所+農機販売+整備
	拠点	16 いわき南	いわき市泉町黒須野字早稲田59	0246-56-1177	事務所+農機販売+整備

【2】EA21推進組織及び役割

【推進組織】



代表者	・株式会社ISEKI Japan東北カンパニー E A 2 1 推進最高責任者 ・経営における課題とチャンスの明確化ならびに環境経営方針の作成 ・実施体制の構築及び各自の役割責任、権限を定め全従業員に周知 ・環境管理責任者の任命 ・EA21運用・維持の為の経営資源の準備 ・全体の評価と見直し・指示
環境管理責任者	・全社統一版 E A 2 1 システムの構築と運用 ・環境会議の運営 ・環境経営計画の策定と進捗管理 ・営業部推進責任者、実行責任者の教育 ・環境経営方針、環境経営目標及び環境経営計画の全従業員への周知
営業部推進責任者	・E A 2 1 システムの運用 ・環境活動計画に対する進捗管理 ・定期パトロールと不適合対策と処理 ・環境委員会への出席 ・各営業部、社員の教育・訓練 ・緊急時対応訓練の実施確認
営業部実行責任者	・推進責任者のサポート ・各営業部の E A 2 1 システムの運用 ・各営業部の環境教育・訓練の実施 ・各営業部の活動計画の策定と具体的取組
拠点推進責任者	・各拠点の・各営業部の E A 2 1 システムの運用 ・各拠点の環境教育・訓練の実施
環境会議	・全社の環境経営計画の進捗管理 ・全社の環境に関する問題点の提起と解決策の検討 ・その他
EA21推進事務局	・E A 2 1 システム マニュアル作成 ・環境経営計画と実績の取りまとめ ・環境経営レポートの作成 ・環境関連文書、記録の作成及び保管（5年間保管する事とする）
監査室	・法令、各地域の条令に違反が無い実査する。 ・統計データが正確なものか各拠点を巡回し、監査する。

株式会社ISEKI Japan 東北カンパニー 環境経営方針

<井関グループの環境ビジョン>

井関グループは、「お客様に喜ばれる製品・サービスの提供」を通じ、2050年までにカーボンニュートラルで持続可能な社会の実現を目指します。

<井関グループの環境基本方針>

井関グループでは、持続可能な社会の実現を目指すべく、自然・社会・企業の調和に貢献する環境活動を推進します。

- ① 環境マネジメントシステムの整備と機能的運用
- ② カーボンニュートラルを実現する事業活動及び製品・サービスの普及促進
- ③ 環境関連法規の順守
- ④ 環境教育と環境情報公開

《基本理念》

農業用機械の販売を主要事業とする株式会社ISEKI Japan東北カンパニーにとって、人類共通の重要課題である地球環境問題の解決へ貢献することは重要な使命です。

これを全うするための手段として、環境負荷削減活動が、本来の事業活動に対して、収益体質確立、働きやすい職場創出、社会的信頼性の確立等と密接に関連していることを念頭に入れ業務を遂行し、東北の農業発展に貢献できる企業を目指します。

《基本方針》

当社が管轄する全ての事業所が、環境負荷削減活動の重要性を認識し、事業活動全般を通じ全従業員一丸となって自主的、積極的に取り組み、継続的改善を誓約します。

1. 農業用機械および関連サービスの提供
2. 経営システム・組織力強化による創造的職場環境の創出
3. 営業力および技術力の強化
4. 設備の導入・維持管理
5. リスク管理（コンプライアンス・健康・安全・先見性）
6. 事業活動の環境負荷削減（業務効率化・省エネ・省資源）
7. 社会的責任履行と貢献

2025年1月1日
株式会社ISEKI Japan
東北カンパニー
社長 加藤 敏幸

宣言 2006年3月6日
改定 2012年3月1日
改定 2014年2月14日
改定 2015年12月1日（代表取締役の変更）
改定 2018年12月1日（代表取締役の変更）
改定 2020年3月25日
改定 2022年2月28日
改定 2022年8月1日
改定 2022年12月1日（代表取締役の変更）
改定 2025年1月1日（社名変更）

【4】中長期環境目標

環境経営目標（短期、中期）全社合計

運用期間：毎年1月～12月の1年間
環境経営目標は3力年目標を掲げて環境活動に取り組む。

目標値について
CO₂排出量、電力使用量、ガソリン使用量、軽油使用量、水使用量、コピー用紙、時間外労働時間の削減は前年の1%削減
灯油使用量、都市ガス使用量、LPG使用量、廃油使用量、廃棄物排出量、一般廃棄物排出量、産業廃棄物排出量、化学物質使用量は過去3年間の平均値より1%削減

昨今の取組結果から実態に沿った目標値が必要と判断し、従来の全項目において基準年度から毎年1%ずつ削減する目標から変更しております。

	単位	目標値(2023年度実績または過去3年間の平均)	2024年度目標	2025年度目標	2026年度目標
		実績	目標	目標	目標
CO ₂ 排出量の削減	kg	4,401,779	4,313,744	4,269,726	4,225,708
電力使用量	kwh	2,938,994	2,909,604	2,880,214	2,850,824
灯油使用量	L	188,703	186,816	184,929	183,042
都市ガス使用量	m ³	50	49	49	48
L P G使用量	kg	1,238	1,226	1,214	1,201
ガソリン使用量	L	481,957	477,137	472,318	467,498
軽油使用量	L	322,902	319,673	316,444	313,215
廃油使用量	L	110	109	108	107
廃棄物排出量の削減	t	1,146	1,135	1,123	1,112
一般廃棄物排出量	t	63	62	62	61
産業廃棄物排出量	t	1,083	1,073	1,062	1,051
水使用料の削減	m ³	12,350	12,226	12,103	11,979
コピー用紙使用量の削減	t	8.4	8.3	8.2	8.1
化学物質使用量の把握	Kg	518	513	508	503
ICTの取組	%	100	100	100	100

【5】環境目標と実績

■前年対比環境負荷実績

環境経営目標の達成状況、及び評価結果（全社合計）

	単位	2023年度 (前年)	2024年度目標	2024年度	対目標		対前年度		コメント
		実績	目標	実績	実績	評価	実績	評価	
CO2排出量の削減	kg	4,401,779	4,313,744	4,219,602	-94,142	○	-182,177	○	消費電力・燃料使用量の削減により目標達成
電力使用量	kwh	2,938,994	2,909,604	2,890,941	-18,663	○	-48,053	○	照明機器LED更新の効果が出てきている
灯油使用量	L	181,942	186,816	181,864	-4,952	○	-78	○	消費量を抑制できた
都市ガス使用量	m	38	49	20	-29	○	-18	○	目標達成
L P G使用量	kg	932	1,226	832	-394	○	-100	○	目標達成
ガソリン使用量	L	481,957	477,137	441,479	-35,658	○	-40,478	○	効率的な営業で削減できた
軽油使用量	L	322,902	319,673	304,586	-15,087	○	-18,315	○	効率的な営業で削減できた
廃油使用量	L	109	109	106	-3	○	-3	○	目標達成
廃棄物排出量の削減	t	990	1,135	1,016	-119	○	26	×	引き続き排出量抑制に努める
一般廃棄物排出量	t	62	62	58	-4	○	-4	○	削減意識向上
産業廃棄物排出量	t	928	1,073	958	-115	○	30	×	排出量を抑制できた
水使用料の削減	m	12,350	12,226	11,465	-761	○	-884	○	節水に努める事ができた
コピー用紙使用量の削減	t	8.4	8.3	8.6	0	×	0	×	対前年・目標共に未達
化学物質使用量の把握	Kg	303	513	235	-278	○	-68	○	削減に努めた
ICTの取組	H	100	100	100	100	○	100	○	スマート農機・アイガモロボの拡販に努めた

購入電力の二酸化炭素排出係数: 0.463kg-CO2/kwh

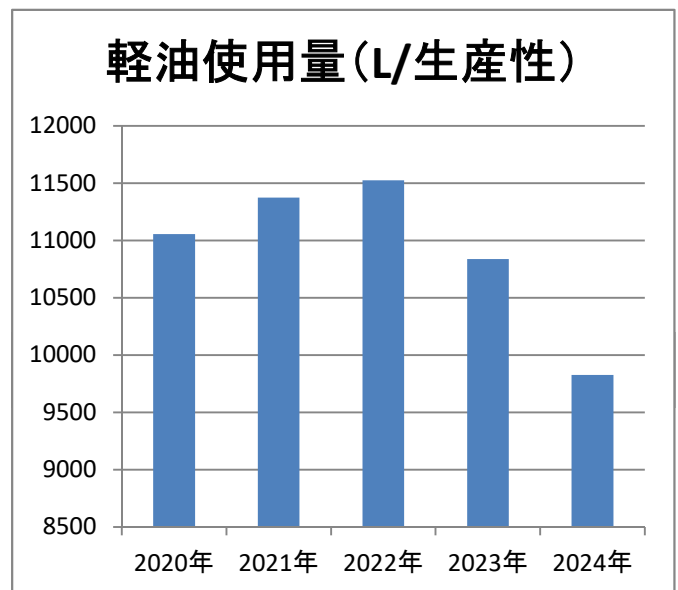
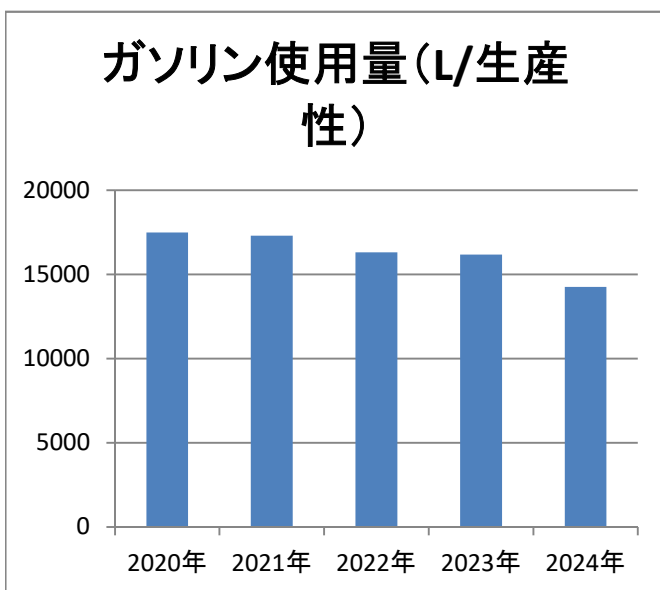
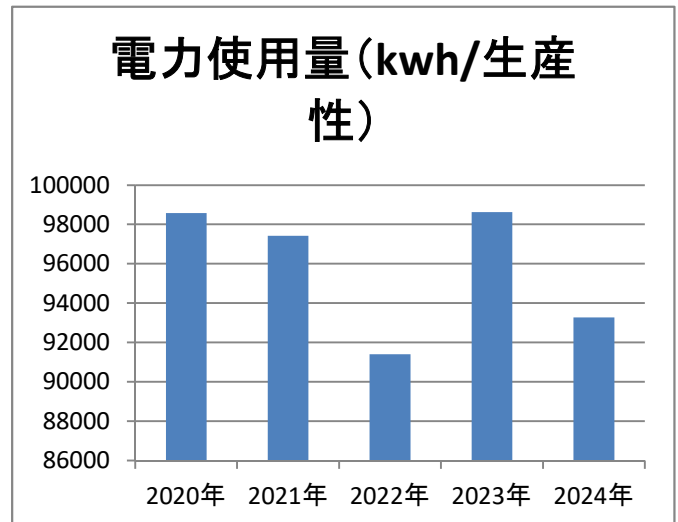
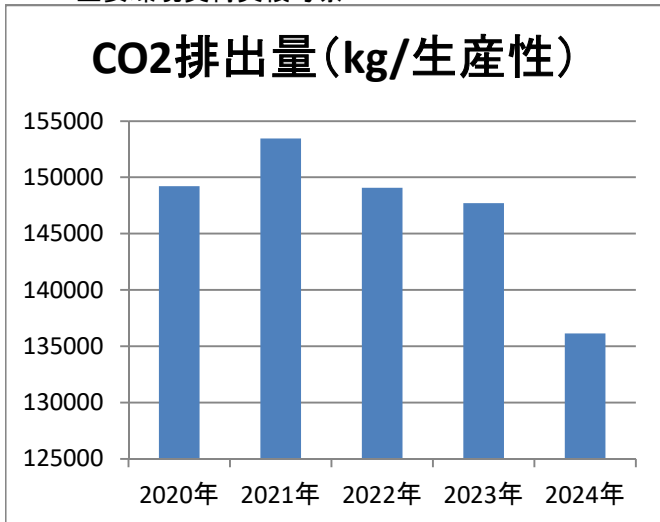
■直近5年の主要環境負荷実績とその評価

環境負荷実績	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
CO2排出量の削減	kg/生産性	149215.1	153444.2	149082.3	147,716.3	136,133.7
電力使用量	kwh/生産性	98571.7	97428	91395.8	98,627.7	93,268.1
灯油使用量	L/生産性	6697.6	6226.1	6557.2	6,105.7	5,867.3
都市ガス使用量	m³/生産性	2.3	1.8	1.9	1.3	0.6
LPG使用量	kg/生産性	40	34.3	58.6	31.3	26.8
ガソリン使用量	L/生産性	17473	17283.4	16296.3	16,173.7	14,243.1
軽油使用量	L/生産性	11053.4	11373	11523.8	10,836.1	9,826.6
廃油使用量	L/生産性	3.7	3.7	3.7	3.7	3.4
廃棄物排出量の削減	t/生産性	41.9	43.4	38.0	33.2	32.8
一般廃棄物排出量	t/生産性	2.1	2	2.2	2.1	1.9
産業廃棄物排出量	t/生産性	39.9	41.4	35.8	31.1	30.9
水使用料の削減	m³/生産性	452.7	447.5	412.6	414.4	369.9
コピー用紙使用量の削減	t/生産性	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
化学物質使用量の把握	Kg/生産性	26.7	23.1	18.5	10.2	7.6

生産性＝総売上金額（百万円）÷従業員数

【5】環境目標と実績

主要環境負荷実績考察



●主な環境負荷要因

- 電力使用量：照明機器、整備工場機器工具、コイン精米機
- ガソリン：営業車燃料
- 軽油：トラック燃料

二酸化炭素排出量、電力使用量、ガソリン使用量、軽油使用量すべてにおいて減らす事ができました。

今年度は7拠点の照明器具をLEDに更新を行い、特に本社事務所の更新を行ったため、電気使用量を減らすことができました。

法改正により蛍光灯が使用できなくなる為、2027年までに全拠点のLED更新を計画します。

燃料使用量について、人員・車両台数は昨年と比較して減少しているが、売上自体は維持できているため相対的に生産性の向上、その結果車両燃料使用量を抑えることができました。今後も計画的な営業・配送ルート構築や燃費のよい車両への入替等を継続して取り組み消費量削減に努めて参ります。

【6】環境経営計画と実施評価

環境経営計画

※結果表示記号・・・「○」=よくできた、「△」=一部できなかった、「×」=ほとんどできなかった

○環境経営方針：基本方針

- ① 農業用機械および関連サービスの提供
- ② 経営システム・組織力強化による創造的職場環境の創出
- ③ 営業力および技術力の強化
- ④ 設備の導入・維持管理
- ⑤ リスク管理（コンプライアンス・健康・安全・先見性）
- ⑥ 事業活動の環境負荷削減（業務効率化・省エネ・省資源）
- ⑦ 社会的責任履行と貢献

区分	活動計画の取組内容	活動期間	責任者	評価	結果	次年度の取組方針、対応策等
	農業用機械および関連サービス提供					
① ⑦	①顧客への営業活動、サービスを通じて営業計画を達成する	通年	推進責任者	資材価格の高止まりによる投資意欲の減少により苦戦を強いられた。	△	米不足問題による米価上昇により農家の購買意欲の上昇、販売計画達成を目指す。
	環境関連事業の推進					
⑥ ⑦	①エコアクションの普及促進活動の実施	通年	推進責任者	社員大会、朝礼時にエコアクション環境方針・コンプライアンスの説明、経営計画の掲示により意識向上を図った。	○	EA21取り組みを継続し、環境経営目標であるカーボンニュートラルを目指す。
② ⑦	②さなえ美化運動による3S(整理・整頓・清掃)の実施	通年	推進責任者	整理整頓に努め美化意識だけではなく効率的な業務運用へも生かした。	○	継続して美化運動を行う。
② ⑦	③会社敷地内・周辺地域の清掃活動	通年	推進責任者	敷地内だけではなく、営業所周辺のゴミ拾い、草刈を行った。	○	引き続き敷地内・周辺地域の清掃活動を継続実施する。全員で行うことにより美化意識の共有を行う。
② ⑤	④各事業所朝礼時、事例集等の読み合わせによるコンプライアンス教育の徹底	通年	推進責任者	毎月4回以上、朝礼コンプラテーマを指定し各事業所単位で朝礼を実施し、コンプライアンス教育を実施した。	○	今後も継続して注意喚起を行い、不祥事を未然に防ぎ、労災の撲滅を目指す。
⑥	⑤アイドリングストップ・エコドライブの実施	通年	推進責任者	営業外回り時にこまめなエンジン停止、急発進・急加速を抑制して燃料費の削減を行った。	○	今後の継続的にエコドライブ、安全運転に努め交通事故発生を抑えること。
⑤	⑥各事業所設置している消火器定期点検の完全実施	通年	推進責任者	周りに物を置かない、有効使用期間の点検を行い有事の際に素早く使用できるよう設置状況の確認を行った。	○	消防署への定期検査報告を実施すること。
① ③	⑦作業効率化、顧客満足度アップの為、各種研修に参加し商品知識・技術力向上を図る	通年	推進責任者	資格取得・研修への参加を促して、積極的に知識向上の機会を設けた。	○	スキルアップを継続して行いお客様に信頼されるサービスマンを目指す。
	二酸化炭素排出量の削減					
⑥	①エアコン設定温度の管理	通年	推進責任者	必要に応じて冷房、暖房を使用して体調を崩さないように努めた。	○	極端な設定温度にせず、季節を問わず状況に応じて切り替える事。
⑥	②昼休み不要電気の消灯	通年	推進責任者	整備工場等で作業していない時は電気を消すように心がけた。	○	照明だけでなく使用していない機器のコンセントを抜いて待機電力の消費を減らすようにする。
⑥	③ブラインド・カーテンの効果的利用	通年	推進責任者	日光を遮断して部屋の温度上昇を抑制した。	○	引き続き取り組みを継続していく。
⑥	④クールビズ・ウォームビズの実施	通年	推進責任者	年間を通してノーネクタイの推奨を行っている。	○	各個人が服装の調整を行い、状況に合わせて合理的に運用を行う。
③ ⑥	⑤営業経路を検討し、効率のよい運転を実施する	通年	推進責任者	計画的な営業活動を行い、車両燃料使用量の低減に努めた。	○	引き続き取り組みを継続していく。
④ ⑥	⑥設備を新設・増改築する際は、LED照明などの省エネ設備を導入する	通年	推進責任者	7拠点の照明機器のLED更新工事を行い、消費電力量の低減に努めた。	○	次年度も計画的に照明更新を行い、電気使用量の削減、また職場環境の改善を行っていく。
	総排水量の削減					
⑥	①実演機、修理機に付着した土・泥を搬入先で極力落とし整備前の洗車時の水使用量を低減させる	通年	推進責任者	圃場から引き揚げた機械に付着した土・泥を搬入前に極力落とす事によって洗車時の水使用量の低減を図った。	○	圃場での泥落としを積極的に行うことにより経費削減・営業所内の美化に努める。
⑥	②水道蛇口付近に節水表示を行う	通年	推進責任者	目立つ位置に節水表示を行い、水道使用量の低減に努めた。	○	取組を継続し水資源の効率的な活用を目指す。
	廃棄物排出量の削減					
⑤ ⑥	①廃棄物置場は、適正な分別表示と分別を推進する	通年	推進責任者	産廃の表示と分別を徹底することで3S活動へもつなげることができた。	○	法令を順守して廃棄物の適切な保管・廃棄を継続する。
⑥	②再生資源として再利用可能な分別を実施する	通年	推進責任者	一般廃棄物、産業廃棄物共に前年よりも排出量を抑えることができた。	○	分別を徹底して鉄くずや廃油など再利用できるものの量を増やしていく。

【6】環境経営計画と実施評価

環境経営計画

※結果表示記号・・・「○」=よくできた、「△」=一部できなかった、「×」=ほとんどできなかった

○環境経営方針:基本方針

- ① 農業用機械および関連サービスの提供
- ② 経営システム・組織力強化による創造的職場環境の創出
- ③ 営業力および技術力の強化
- ④ 設備の導入・維持管理
- ⑤ リスク管理(コンプライアンス・健康・安全・先見性)
- ⑥ 事業活動の環境負荷削減(業務効率化・省エネ・省資源)
- ⑦ 社会的責任履行と貢献

⑥	グリーン購入の推奨	通年	推進責任者	グリーン対象商品を優先的購入に努める。	○	今後も継続する。	
	環境貢献推進目標						
① ③ ⑥	(1)疎植栽培の推進	①疎植栽培技術研修会の実施	通年	推進責任者	研修会を実施して知識習得に努めた。	○	今後も継続する。
		②各展示会にて、疎植栽培コーナーを設置しアピールを行う	通年	推進責任者	合同展示会などを実施して普及に努めた。	○	展示会を実施して顧客の購買意欲を促して営業契約達成を目指す。
		③疎植栽培面積を増加させる	通年	推進責任者	お客様に疎植栽培の提案が出来るように技能を向上させることができた。	○	展示会や研修会を通して疎植の知識と技術を向上させ疎植面積拡大を目指す。
① ③ ⑥	(2)省エネ機械の推進	①買換え見込み客への推進を行う	通年	推進責任者	前半は原材料高騰による厳しいの情勢で苦戦した。後半は米価高騰により顧客の購買意欲が高まり、計画達成に向けて邁進することができた。	△	スマート農業機械の提案を強化して大規模農家、担い手、他社客への顧客拡大に努める。
		②農業法人、集落営農への積極推進を行う	通年	推進責任者			
		③展示会等で、新製品の情報提供を行う	通年	推進責任者			
	業務効率化による環境活動						
② ③ ⑤	働き方改革	通常業務の効率化を一人ひとりが意識する、お客様へも通知する	通年	推進責任者	人手不足により時間外労働時間が昨年よりも多くなった。	△	業務内容の見直しを行い、労働時間削減に努める。
② ⑤ ⑥	在庫圧縮	拠点の在庫を圧縮、無駄をなくし効率的な管理を行う。	通年	推進責任者	在庫がある商品を積極的に推進するように努めた。	○	型遅れ・陳腐化する作業機・部品を削減して商品在庫ロス削減に努める。
① ③ ⑤	キャッシュレス化	キャッシュレス化を推進し、回収業務の効率化を図る	通年	推進責任者	全社平均でキャッシュレス化率2ポイント上昇することができた。	○	目標の95%を目指し、現金回収業務を低減させること。
① ③	技術力向上	研修、資格取得、OJTにより知識技術力を向上させる	通年	推進責任者	研修、資格取得を推進して技術力アップに努めた。	○	IGTC研修を有用してスキルアップに努める。

【7】環境教育実施

[社員大会にて]

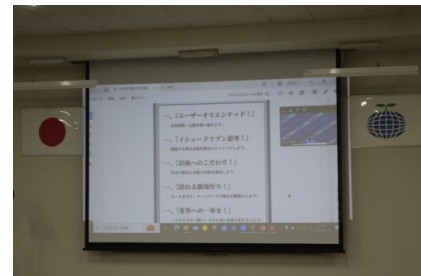
2024年12月16日（月）12時30分～16時45分

各拠点リモート接続によるテレビ会議で実施

参加人数 502名

内容 社員全員環境経営方針と環境経営目標を理解する。
環境経営方針の再確認
コンプライアンス教育の実施

結果 本年度の実績、課題の確認、来年度の経営目標の周知を行った。
また環境経営方針の再確認を行い、一人ひとりに環境意識を根付かせた。



【8】環境会議の実施

○営業会議

2024年1月15日（月）

販売奨励策について

2024年2月8日（木）

セイホー会開催について

2024年3月6日（水）

NTTeドローンキャンペーンについて

2024年4月5日（金）

春繁忙期対応について

2024年5月8日（水）

ザルビオ可変実演について

2024年6月5日（水）

合同展示会について

2024年7月5日（金）

個人情報保護法について

2024年8月6日（火）

コンプライアンス説明会について

2024年9月5日（木）

秋繁忙期対応について

2024年10月4日（金）

プロジェクトZ施策について

2024年11月11日（月）

新型アイガモロボについて

2024年12月10日（火）

技能検定講習会について

○安全衛生推進会議

・全拠点に衛生推進者を設置し敷地内パトロールを行う。

・各拠点で月1回安全衛生推進会議を実施して問題点があれば情報共有する。

・チェックシートを毎月提出して営業部、本社へ報告を行う。

【9】環境関連法規制の
遵守状況

主な環境関連法規

No	法令名称	要求事項・確認内容	遵守状況
1	廃棄物処理法	適正な処理	○
		委託業者の一般廃棄物の収集運搬資格保有の確認	○
		排出量の抑制	○
		産業廃棄物の運搬、処分等の委託基準の順守	○
		水銀使用製品産業廃棄物の適正処理	○
		マニフェストの保管義務及び確認義務	○
2	水質汚濁防止法	油流出事故時の応急処置及び県知事への報告義務	○
3	下水道法	排水設備の設置遵守	○
4	浄化槽法	浄化槽設置関連の法令遵守	○
5	消防法及び条例	貯蔵所設置許可・変更届	○
		貯蔵所の位置、構造及び設備の技術上の基準維持	○
		危険物取扱者立会の下での取扱	○
		事故時の処置（応急処置及び消防署等への通報）	○
6	労働安全衛生法	SDS危険有害性化学物の譲渡に際し情報提供及び周知	○
7	毒劇物取締法	販売業者の県知事への登録	○
		毒劇物取扱責任者の選任、知事への届出	○
		盗難防止、在庫、飛散、漏洩等の防止	○
		貯蔵場所の表示	○
8	フロン排出抑制法	機器の設置環境・使用環境の維持保全	○
		機器点検の実施	○
		点検記録の保存（廃棄後も3年保存）	○
		業務用エアコンの漏出量等の届出	○
		廃棄時第一種フロン類充填回収業者への引き渡し	○
		フロン類引渡時、書面の交付（行程管理票）	○
		行程管理票の写しの保管	○

環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は、過去 3 年間ありません。

【10】代表者による全体評価・見直しの結果

年初の地震等の自然災害の猛威、国際情勢や急激な円安による物価上昇と高止まりが以前続いている中で、インバウンド、需要増加に伴う人手不足コスト増加等、輸入大国日本の情勢は厳しい一年となりました。

農業情勢においても資材価格の高止まりによる農業機械への投資意欲減少、雪不足の影響から除雪関連の修理、資材不足、3月改定後の反動減と前半は苦戦を強いられました。8月以降、令和のコメ不足問題が報道され、東北各地の銘柄が12,000円/俵台から19,000円/俵へと仮渡金が回復し追い風が吹き始め、9月以降農家の投資意欲我慢から一転して向かい風から追い風に変わる一年となりました。その中で特に有機農業として新型アイガモロボ、スマート商材としてCHCナビをアピールし売上拡大に努めました。今後も積極的に広報を続けて拡販の努めてまいります。

環境負荷については、二酸化炭素排出量、電力使用量、ガソリン使用量、軽油使用量すべてにおいて削減することができました。要因として計画的な各拠点の照明機器LED化によるものと思われます。またコイン精米機への電子ブレーカー取付効果が順当に出始め電気使用量を減らす事が出来ました。ガソリン、軽油使用量については、車両台数の減少によるものと思われます。人手不足の中でも経営計画達成を目標にしつつ、並行して環境負荷低減に努めてまいります。人、物、資金、時間等、限りある資源を有効活用して継続的な社会貢献を目指します。

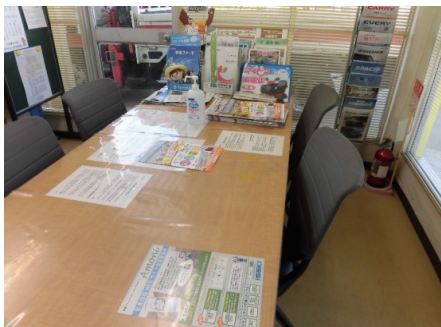
【11】環境コミュニケーション

○さなえ美化コンクールの実施

- 1. 実施運動名 「さなえ美化コンクール」
- 2. 目的 お客様のため（C S向上）、自分たちのため（E S向上）
お客様が、気持ちいい・入りやすい営業所
社員が、気持ちいい・働きやすい営業所
I S E K I ブランドイメージアップ、地域社会への貢献
快適・安心・信頼のある「おもてなし拠点」を目指す！
- 3. 実施内容 5 S運動の徹底
毎年行っている「美化運動」が継続されているか

4. 実施結果

	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島
表彰拠点	黒石	盛岡	佐沼	本荘	遊佐	白河中央



○初期消火訓練の実施



- 実施訓練日：2024/12/28午前8時35分
 - 参加者 本社従業員合計59名
 - 発生場所 本社2階事務所
 - 発生原因 ストープより出火
 - 対応内容
 - ・出火の確認
 - ・周囲へ知らせる、消防署へ通報
 - ・初期消火開始、他駐車場へ避難
 - ・消火後、点呼
- 対策は有効であった。

○清掃活動

- 実施日 2024年10月12日 午前9時
- 実施場所 本社敷地内外
- 実施内容 清掃活動



●朝礼コンプラの実施

■実施日：毎週1回朝礼時

朝礼時、様々なテーマについて読み上げ周知・教育を行っております。

- ・コンプライアンス … 法令遵守にかかわること。
- ・労災防止 … ISEKIグループ内での労災事故事例を紹介し、同様の事故発生を防ぐ。
- ・不祥事事例 … ニュースでの出来事や起こり得る不祥事事例を紹介し、不祥事を防ぐ。
- ・マナーや思いやり…安全運転・健康管理・身だしなみ・喫煙等。

【タブレット導入による業務効率化 と 効率化によるエコへの取り組み】

- ・ 2021年7月導入 ⇒ 同年 8月 6日使い方説明会 （2023年 3月現在 導入 179台）
- ・ 営業セールスマン、特約店担当者、コイン精米事業担当者などに配布



- ・ 当社の営業スタイルは、各農家様宅 また 圃場への訪問などによるルートセールス体制となっている
そのため、車両での移動が多く、その移動時間を短縮することにより、業務の効率化が課題でした。
- ・ セールスマン業務は、通常の販売・提案業務のほかに、繁忙期(特に春田植え作業、秋収穫作業)時には、圃場での修理対応も現場で行っているため、販売店(営業所)へ極力、資料の閲覧、部品発注業務などで営業所へ戻ってこなくとも、現場で対応出来れば、次のお客さまへの対応が出来き時間の短縮(移動時間、残業時間)が出来き、無駄な移動を削減することにより、車両移動距離も削減となり、排気ガスの抑制による温暖化へのエコへも繋がる。
- ・ 導入後、営業セールスからは一部の意見としては、
 - 「営業面」・ 動画による商品説明が出来よりお客さまの商品購入意欲がアップした
農業機械の種類が多く知識が必要だったが、若手でも説明が出来る
 - ・ カタログが切れても、営業所に戻ることなくタブレットで説明が出来る
 - ・ 見積もりがしやすくなった。クレジット分割金利計算が簡単になり説明できる
 - ・ Zoomによるタブレットでの取引先との同行推進も可能となった
 - 「修理面」・ パーツリストがその場で確認でき、営業所・本社の在庫も確認できるのうになり、修理対応がしやすくなり、時間のロスが減った
 - ・ 修理が分からない場合は、修理マニュアルを確認できる。また、修理箇所を写真にとり、営業所にいるサービスマンに送り、アドバイスや共有ができる

タブレットでの機能

- | | |
|------------------------|--|
| ・ i-Magazine | 営業支援 Web システム |
| | ☐ 提案書 (見積り) ☐ クレジット分割支払計算
☐ 商品動画、Webカタログ ☐ 価格表 製品 / 作業機
☐ 在庫検索 井関製品 / 他社製品 / 作業機 / 部品 / 中古品
☐ 中古品問い合わせ(価格、推進状況、写真)
☐ 顧客情報 / 保有機情報 |
| ・ i-Next
(井関農機との連携) | 商品情報検索 Web システム |
| | ☐ ICT推進ツール ☐ ロボットトラクタ、自動操舵など
☐ 資材 のご紹介 ☐ 夢ある農業応援団NEWS のご紹介
☐ 公道走行ガイド のご紹介 ☐ 栽培技術・体系のご紹介と提案 |
| ・ デスクネッツ | ☐ メール / パーツリスト(自社・他社) / 実績問合せ / 推進策実績 /
☐ 作業機コード検索 / 部品価格問合せ / チラシの検索 |
| ・ ZOOM | ☐ 推進時に、「ZooM」を活用し、タブレット同行推進も可能 |

- カタログ
- 商品説明動画
- ワークショップマニュアル
- 半セキテクニカルインフォメーション
- メーカー希望小売価格表(作業機)

トップページ
普段良く使うもの



商品の体験が出来ます

検索

顧客マスターリスト

製品・作業機・部品

中古在庫(売上未計上)

中古問合せ(個別)E68補足

顧客情報

保有機

天気予報

W NEXT

Twitter

@sanae_farmさんのツイート

さなえ @sanae_farm · 3月22日

ISEKI アグリ

アテックス

ニプロ松山株式会社

小機工業株式会社

(株) ササキコーポレーション

石井製作所

スステック

(株) タイショー

バーチャル実演会

観せて魅せての実演会!

●カタログ

●商品説明動画

※通信環境が悪い場合、タブレットの「Files」→「動画」で視聴してください。

●ワークショップマニュアル

製品・作業機・部品の在庫検索

検索結果

384729320030	小売: 29,000 円	倉庫在庫	拠点在庫
センサ(ACD) SET (13/FN)		7	0

在庫場所

商品管理部品センター 7

様々なコンテンツ

Work 営業系

回収原資表(担当顧客)

提案書

状況分析

W NEXT

ランキング

顧客マスターリスト

製品・作業機・部品

中古在庫(売上未計上)

中古問合せ(個別)E68補足

顧客情報

保有機

天気予報

W NEXT

Webパーツカタログ

i-Next

井関農機

半セキ東北 - 販売拠点

デスクネット

Amoni

ISEKI ISEKI & CO., LTD.

English 中文 お問い合わせ

商品情報 営業情報 お客様サポート 企業情報 採用情報

「お客さまに喜ばれる製品・サービスの提供」を通じ豊かな社会の実現へ貢献する。

「食と農と大地」のソリューションカンパニー
Solution Provider for Agriculture & Landscape

トラクタBFシリーズサイトはこちら

商品情報 トップ

トラクタ

田植機

コンバイン

家庭用ミニ耕うん機・管理機・耕うん機

乾燥機・脱穀機

果樹管理機

野菜作機

アイモロボ

カタログ

GEAS NT45

貫つすぐを

GEAS NT45シリーズ 直進アシスト仕様 36~60 馬力 (PS)

カタログ ムービー

you tube での動画説明

【公式】 ISEKI トラクタ 直進アシストシステム オペレーション NT45シリーズ